事例No.	3141
公表年度	R6
団体の属性	一般市
団体名	奈良県生駒市

事例区分	地域活性化

タグ	・副業・兼業活用

事例種類	地域振興

事例内容・タイトル

アドバイザー先の副業(地域貢献)制度：生駒市

出典

社会の変革に対応した地方公務員制度のあり方に関する検討会（第4回）

アドバイザー先の副業(地域貢献)制度：生駒市

- 職員が地域活動に励み、市民との参画や協働によるまちづくりがより一層活発になることを目指して平成29年8月より創設
- 現在では年間30件程度の利用があり、累計利用件数は100件以上（全職員数は840名）
- 市ホームページでも、副業（地域貢献活動）を行っている職員を紹介

地域貢献活動（副業）を行う市職員の紹介

令和3年10月
生駒市人事課

消防署署補佐　久保　大寿



普段の仕事

消防指揮隊副隊長として主に現場活動、現場の指揮をとっています。
また、救急救命士の資格も持ち、救急に関する業務にも携わっています。

地域貢献活動の内容について

「いのちの授業」という出前授業を小学４年生に対して行っています。
いのちの大切さというより、いのちは時間であり、人のために自分の時間を使える人になって欲しいという内容であり、間接的にいのちを大切にすることを伝えています。

活動をはじめた背景・目的

救急隊として勤務していたころ、安易な救急要請をどのように減らしていくかと考えていた時に「いのちの授業」をしているNPO法人「エフ・フィールド」に出会い、活動内容に賛同することができ、命の大切さを伝え、本当に命に危機が迫っている方に救急車を使ってほしいという願いから活動をはじめました。
子育てが終わり子供のために使っていた時間を社会貢献のために活かすことができればという思いと、また子供のころの教師になりたかったという夢が一致し教壇に立ちたいと思いました。
業務上さまざまな厳しい現場をみることがあり、ゲートキーパーとしての役割も担えるのではという思いもあります。

活動していて良かったと思う点

異業種の方と知り合い接することから得られる知識などを本業に活かせることができますし、アイデアの幅も広がりました。人に出会うと不可能なことが可能になる瞬間が現れ、頭の中のイメージだけではできないことが良い方向に動くことが多々あります。
純粋な心を持ったこどもたちとふれあうことで自分の心をリフレッシュすることができ、本業に関してももっとシンプルに考えることができるようになりました。

制度を利用しはじめて、変わったと思うこと

無償で活動していた時よりも、責任を感じるようになり、一つ一つの行動をより深く考えるようになりました。また活動には雑費がかかるため、このような制度は本当にありがたいです。

活動についてこれからの抱負など

人のために時間を使うということをどんどん実践しもっと社会貢献していきたいと思います。副業ですので稼がなくてもいいというスタンスで、小回りの利く社会貢献を目指し、「いのちの授業」だけでなく生駒からの発信で全国に広がるような活動をしていきたいと考えています。

これから活動を始めようとする人へ一言

副業ということで今まで自分で考えていたようなことや、しなければならないと思っていたようなことがリスクなくでき、達成感ややりがいなどを楽しむことができます。ぜひ自分の持っている時間を少しだけでも人のために分けてほしいと思います。生駒市というより全国、世界に活気が伝わることを願います。

1

（出所）生駒市ホームページ

Copyright © 2024 Aoyamashachu Corp. All rights reserved